

# 竹早

## 会報

2025 No.36

東京府立第二高等女学校同窓会  
東京都立竹早高等学校同窓会



篁会は「思い出のピースとの再会」と  
「新しいピースとの出会い」をつなぐ場所



### 特集「83年卒業生の足跡」 ～高校時代の思い出とその後

第7回ホームカミングデーのご案内	2
篁会会長・竹早高校校長挨拶	3
令和6年 篁会総会、第6回ホームカミングデー報告	4
若篁会、明日に向かって頑張っています!	5
特集「83年卒業生の足跡」	6
篁会特別セミナー、企業訪問	9
学年幹事交流会報告、六竹会	10
奨学生認証式、竹早祭・体育祭	11
シニア会、東京校歌祭、大学合格状況	12
企画 還暦後の竹早生は今	13
令和6年度 理事会、決算・予算案報告	14
今後の活動情報、会費納入方法	15
役員・広報委員会名簿	裏表紙

# 第7回 竹早高校 ホームカミングデー あの日、あの人と、繋ぐ

開催日時 2025年6月22日(日)

**リアル開催** (参加費無料/教育基金への寄付をご検討ください[任意])

受付開始 12:00 ~

第一部 12:30 ~ 篁会総会

第二部 13:30 ~ パネルディスカッション ~歴代の先生方をお招きして~

第三部 15:00 ~ 交流会 (16:00 頃終了予定)

## 各種イベント

- ◆懐かしの「フジモリパン」配布 (数に限りがあります)
- ◆「標準服着用と竹の子結びの変遷」展示研究発表
- ◆校内見学ツアー
- ◆卒業生による就職セミナー
- ◆「100周年記念誌」即売会

同期生、先輩後輩、  
ご家族とお誘い合わせて  
ぜひお越しください!

★リアル開催へ参加申込み方法 以下いずれかの方法でご参加ください

①右のQRコードからエントリー **メ切：リアル参加 - 6月13日(金)**

②当日参加も可能ですが、混乱を避けるためできるだけ事前のお申込をお願いいたします。



**バレー部OBOG会ホームカミングデー同時開催** 若いOBOGが楽しく活動・活躍するOBOG会へ

12:00 受付開始(支援寄付・会費もお願いいたします)

13:00~15:30 OBOG交流試合(アリーナ)

13:00~13:30 親子マジック教室(書道室)

外部施設へ移動 世代を超えて楽しい懇親会

〈問い合わせメール〉 takehayaobogkai@gmail.com



**インターネット生放送** (YouTube ライブ限定配信)

6月22日(日) 10:00放送開始(当日、リアル会場でも上映します)

- ◆特別スタジオから82年卒のスペシャル動画を配信
- ◆竹早高校から生中継

(視聴方法は特設ホームページ、SNSでご案内します)

篁会ホームページ <https://www.takamura-kai.com>

特設ホームページ <https://takehaya1982.com>



主催：篁会 幹事年：82年卒学年幹事会 協力：東京都立竹早高等学校

## 箠会会長ご挨拶

箠会会長 高倉 孝生

高校23回生、箠71回生の高倉孝生です。日頃より箠会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今年には昭和100年、大阪では万博開催と節目の年。前回の大阪万博(1970年)の時、私は高校3年の夏休みに父に連れられて万博に行きました。覚えているのは岡本太郎の太陽の塔とライブで聴いたフィフスディメンション「輝く星座」でした。



さて、箠会若手理事と組んでいろんな活動を進めてきましたが、そんな中で気がついたのが「絶滅危惧種」ならぬ「竹早の絶滅危惧言葉」です。例えば「第4学区」と「41群」、昭和42年から16年間続いた入試制度ですが、50歳半ばから70歳すぎが集まると男子の全員が「竹早に決まったときはガッカリだった」といい「でも卒業するときは竹早生でよかった」といいます。次に「第二高女」、学校創立から戦後都立竹早高校になるまでの約半世紀の期間、府立第二高等女学校として錚々たる先輩方が卒業されています。

一方で今でも若手と通じ合うフジモリ(パン屋)とヒマラヤ杉。本年も6月22日ホームカミングデーの企画が煮つまっています卒業生の皆様と竹早高校でお会い出来るのを楽しみにしています。

## 竹早高校校長ご挨拶

竹早高校校長 俵田 浩一

箠会の皆様方には日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

堀切校長の後任として4月1日付で着任しました俵田浩一です。3回目の竹早高校になります。1980年に竹早高校を卒業し(高校32回生)、1990年4月から2000年3月まで10年間竹早高校で保健体育科教員として過ごしました。旧校舎から新校舎への改築が始まってから完成まで竹早高校で勤務しました。旧校舎と現在の校舎で過ごした学校に着任することができ、自分でも驚いています。



今年度竹早高校は、東京都教育委員会から、進学指導推進校、理数研究校、Tokyo Metropolitan Global Education Network School for English Education (GE - NET EE)、【TIPS-Type3】Tokyo - IBLハイスクール、海外帰国生徒受入校の指定を受けました。海外学校間交流推進校は現在申請中です。これらの指定を踏まえて探究活動や国際交流活動を推進しています

この春の現役生の主な合格状況は、難関大学の東京大学1名、一橋大学2名、東京科学大学2名をはじめとして国公立大学に79名、早慶上理70名と昨年に引き続き進路実現の成果をあげています。

竹早高校の良き伝統を継承しながらも新しい時代に対応した人材の育成を進めていきたいと考えています。箠会の皆様方には引き続き、様々な面でご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

# 総会・ホームカミングデー

## 多数の参加者により盛大に開催

2024年は幹事81年卒の積極的な声掛けや若篁会の新たな試みにより、120名を超える参加者が集い、篁会総会、ホームカミングデーが盛大にリアル開催されました。

### 2024年度篁会総会

2024年度篁会総会は、ここ数年で最も参加者が多く、大会議室から溢れるほどでした。

熱気に包まれた中、81年卒・江口真理氏の司会のもと、高倉会長挨拶に始まり、決算報告、事業報告、事業計画、予算案、人事案のすべてにつき承認を得、滞りなく終了いたしました。

昨年承認された若篁プロジェクトの具体的な活動成果の報告もでき、有意義な総会内容だと、多くの参加者から評価を頂きました。

### 第6回竹早高校ホームカミングデー

篁会総会後のホームカミングデーは、メイン会場にて81年卒植松洋彦氏による「日本初の宇宙船こうのとりの24年間におよぶ開発と運用、その光と影〜」、同保延裕子氏による「41歳でITベンチャー創業、『千里の道』に不思議と現れる道しるべ」をそれぞれタイトルとしたスペシャル講演会が上映されました。81年卒の同級生による進行、質疑応答などによる録画参加は素敵な講演を一層盛り上げていました。

校舎内では恒例の「校内探索謎解きツアー」が74年卒廣川州伸氏プロデュースで開催され、昨年まで公開されなかった音楽室が初めて公開され、最終集合地点として賞品の「大吉おみくじ」を手に賑わいました。

地下の講義室では若手卒業生（若篁会）による「ブース別就職セミナー」が新機軸として開催され、現役大学生の篁会会員が興味を持って参加できるイベントとして大いに盛り上がっていました。

被服室では50年分の卒業アルバム展示と同時に、NHK朝ドラ「虎に翼」の主人公モデル三淵嘉子氏と共に女性初の弁護士となった、府立第二高女（現竹早高校）卒の中田正子氏の資料を展示いたしました。

交流会では今年もご厚意でご寄付いただいた景品を含めた「抽選会」で歓声と拍手で盛り上がり、幹事の81年卒から次期幹事の82年卒へのタスキリレーから濱元校長先生によるハーモニカメドレー、最後は竹早高校校歌を参加者全員で合唱し、高倉篁会会長の閉会ご挨拶後、集合写真を撮影して終了となりました。

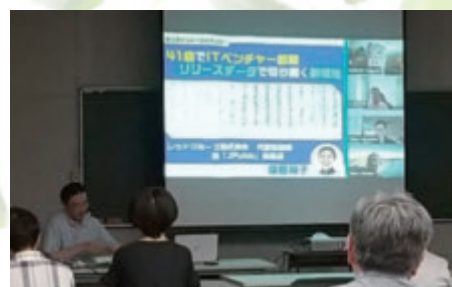
この会の開催に際し、篁会理事、アドバイザー、広報委員の諸氏には多岐にわたるサポートをいただき心より感謝申し上げます。また一緒に準備、運営をしていただいた81年卒有志には良き友のありがたさを改めて実感させてもらいました。本当にありがとうございました。



受付: 広報委員と81年卒メンバー



総会: 吉田副会長議事進行



スペシャル講演会上映



校内探索謎解きツアー



就職セミナー



濱元校長先生ハーモニカ演奏

## 若篁会、明日に向かって頑張っています!

昨年の会報誌にてご紹介した若篁会発足プロジェクトですが、2024年度は前年同様の忘年会開催に限らず、若手だけの定例ミーティングも設置しました。3か月に1度、若手だけで集まり、フレッシュで柔軟な発想でこれからの篁会活動を考えていくことを目的としています。また、従来は大学生から20代前半のメンバーで集まっていたが、今年度から30代のメンバーも増え、より幅広い集いになっています。

具体的な活動実績としては6月のホームカミングデーにて、若篁会メンバーを中心とした就活セミナーを実施しました。従来の形式からガラッと変更し、様々な業界の若手社会人がブースに分かれて自身が勤める業界・会社の話をする形にしました。参加した学生からは一度に複数の業界の話を聞けるイベントとして好評をもらいました。また、セミナーに講師として参加した若手同士で終了後に懇親会を行い、異業種交流も実施することができました。他にも、高校1年生を対象として実施した、大学進学後の各学部で学ぶ学問の内容について紹介する「学問ガイダンス」では、学校側からの要請に応え、若篁会メンバーを中心とした現役大学生13名が講師として活躍しました。講師それぞれが通う大学・学部で学んだ内容を高校生に伝えるという内容でしたが、生徒の皆さんは近い将来の「大学」に興味津々の様子でした。2025年度も様々な活動を展開していきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(文責 2017年卒若篁会幹事長 東島粹生)



若手だけの定例ミーティング



若篁&ベテラン忘年会



若篁大活躍の学問ガイダンス

### 若篁会とは…

若手会員を組織化し、シニアが中心になって推進している「篁会」の両輪の輪として「若篁会」を結成するという目的で2023年度の総会で承認されたプロジェクトです。若手理事に留まらず、そうでない若い会員も楽しく・愉快地に交流する、心地よい関係性をじっくりと築こうという方針のもと、様々な活動の形を模索しています。

# 83年卒業生の足跡

## ～高校時代の思い出とその後～

### 竹の花は120年に一度咲く??

Aルーム 森田直美

高校生になり「たけのご結び」と呼ばれていた少し重たいセーラー服のリボンを胸に、緊張しながら電車通学を始めたことを今もよく覚えています。制服は「標準服」で、平日の服装は自由でした。ジーパンにセーターで通学していましたが、イヤリングやマニキュアをしてくる友達もおり、外国の学校みたい…と自由な校風が気に入っていました。この自由は、先輩方が学校と闘い勝ち取ったものだと聞き、お会いしたことがない先輩方を心から尊敬しました。

Aルームのみんなも興味が向くままに好きなことに熱中しているようでした。フランス語にハマっていたり、しばらく学校にこなかったり。大学のような雰囲気のお陰で、大して勉強ができなかった私も、水泳部に所属し大会を目指したり、高校3年の竹早祭で演劇に挑戦したりと進学校とは思えない楽しい毎日を過ごしました。でも先生方は、東大進学率が低下傾向にあり学年の成績を嘆いていたのを覚えています。

大学卒業後、総合商社に入社し、病気で退社し、時間を持って余している間に英語の勉強をし直して、その後会議通訳者になりました。50代で全国医療通訳者協会という団体の代表になったことをきっかけに、東京大学大学院に入学し公衆衛生学を学びました。続けて医学系研究科の博士課程に進学し去年学位を授与されました。

竹早在学当時の水泳部は、東大の室内プールを借りて練習していたのですが、その東大のキャンパスで40年後に自分が学生になろうとはつゆも思いませんでした。竹早には、目先の大学受験だけに目標を置くのではなく、生徒が自らの関心事に時間を費やす自由とそれを許容する校風がありました。高校時代に先生方が蒔いてくださった学びという種は、私の中でゆっくりと芽を出し、そして今もなお伸び続けているのです。



修士課程修了時に同期のゼミ生と。右が筆者。

### 「自主自律」ってなんだろう

Bルーム 植田聡美

竹早高校の入学式で、校長先生が「竹早高校の校風は、自主自律です」とおっしゃったので、私は家に帰ってから、初めて聞いた「自主自律」という言葉を4文字熟語辞典で調べました(当時スマホで検索は、はるか未来でした)。

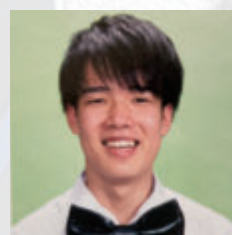
辞書には「他人や周りからの干渉や制約などを受けず、自発的に自分自身で考えて行動し、自分自身の規範に従って己を律すること」とありました。私は「うわー、いい学校だな。自分の考えで自由にやっていいんだ」と勝手に解釈しました。

実際、高校生活が始まると、本当に自由でした。仲の良かった同級生は、RCサクセションの歌詞そのままに、いつも屋上で気ままに過ごしていたものでした。先生方も見過ごしてくださいました。自主性を求めてくださっていたのでしょう。

そして時が経ち、屋上が大好きだった同級生と私は結婚し、長男が竹早高校に入学しました。その初めての保護者会で、印象的な出来事がありました。当時、竹早高校は都立高校の中では珍しい週休2日でしたが、新任の校長先生が、その年度から土曜日も授業をする事を発表していました。その保護者会の場に、生徒の代表者たちが現れて、週休2日を継続すべき理由と「週休2日でも十分な履修ができる」方法を述べて、保護者の説得を試みたのです。保護者たちはその行動と内容に感銘し、校長先生も納得し、週休2日は継続されることになりました。

このとき、自分たちの時代よりも今の生徒達のはるかに自主自律の意味をよく知って考え、行動していることに感動しました。

長男たち竹早生は、高校最後の文化祭で、アリーナを使った演劇でも素晴らしいパフォーマンスとチームワークを見せてくれました。竹早高校の校風が受け継がれ、さらにいい学校になっていることが感じられ、誇らしく感じました。私も夫も長男も竹早高校に通えたことは、素晴らしい思い出です。



軟式テニス部の顧問で、数学担当の渡辺先生! 私たち家族の関係を以下の式で表してみました。証明は必要ないですよ!!

## やっぱり剣道部!

Cルーム 津坂 宗邦

当時の都立高入試制度により縁あって竹早へ入学となったが、制服の黒ボタンを削って金色っぽくすることから高校生活が始まった。

小学生から道場に通っていたので、何のためらいもなく剣道部に入部。途中で柔剣道場が完成したので、環境は非常に良かった。朝練もしっかりあったし、東大・三四郎池までのランニングもあった。時々、OBの先輩(大学生)が稽古に来てくれたが、めちゃくちゃ怖かったと記憶している。それだけに、部活終わりに先輩がご馳走してくれた「ポキート」(近所のパン屋さん)のパンは美味しかった。

越後湯沢での合宿は忘れられない。まだ新幹線が無かったので、上野駅から上越線在来特急「とき」号で移動。『国境の長いトンネルを抜けるとそこは雪国、じゃなくて地獄だ!』と、新潟県が近づくにつれ憂鬱度はMAX↑に達した。ロープウェイで山の中腹にある宿舎へ着いた後は、体調不良でもない限り下山は許されない。缶詰状態での稽古と宿舎生活でたつぷりと根性が養われた。おかげで、卒業してから辛いことがあっても「あの合宿に比べれば、こんなの〴〵・楽勝!」と、自分を奮起させて乗り越えることができた。

そして竹早祭。剣道部は毎年、演劇を披露。男女の恋愛がテーマの作品を取り上げ、部長か副部長のどちらかが女役をするのが伝統だった。部長だった私は「ウエストサイドストーリー」で女装をさせられ網タイツ姿に…。(この時が人生で一度限りの女装体験)

このように、私の高校時代は、勉学はほぼ手を抜き、剣道部中心の3年間だった。おかげで浪人もしたが、竹早での経験すべてが、私のその後の人生を決定づけ、多大なる影響を及ぼすとともに良い糧となっているのは間違いない、と確信している。竹早という環境と出会った人々に感謝である。



自宅にまだある入学時の名簿

## 竹早で学んだ大切なこと

Dルーム 藤田(丸山) 紀久子

きっといい歳の重ね方をしてきたのだろうと感じられる笑顔、笑顔。昨年11月に小石川後樂園涵徳亭で還暦記念のクラス会を開いた。前後して140文字の近況をオンラインで報告し合った“寄せ書き”に、それぞれが社会や家庭でそれなりの役割を果たしてきたことが伺えた。社会のスタートラインにも立っていなかった私たちの、その後42年の足跡が素晴らしく、誇らしく感じられた。

Dルームは、柔道大会優勝、ダンス大会優勝、体育祭優勝、竹早祭グランプリ受賞等の輝かしい思い出が多いが、私たちは常に群れていた訳ではない。淡々としているかと思えば、イベントごとでは急に熱くなり、盛り上がり、終われば平静に戻る。中学までの優等生役から解放され自由を謳歌しながらも、団結してベストを尽くし成果を得る醍醐味とともに、人それぞれの個性や価値観への寛容さ、自分自身に向き合うことの大切さを学んだ。

学習院大学文学部卒業後は小売業界で38年。社長秘書、CSR、広報、教育等の部署での責任者を経て、近年ではイオン株式会社の広報部長、ダイバーシティ推進室長、グループ会社の社長を経験した。現在は美と健康のセレクトショップ「イオンボディ」で2度目の社長業に奮闘中だ。何の取り柄もない私が、“ガラスの天井”に悩む暇もなく組織のリーダーを任されている訳は、竹早で学んだことと無関係ではないと感じている。心を開いて人と向き合うコミュニケーションの基盤となるのは自分の軸。困難な場面でも自分のモチベーションを保つものは、私の背骨のような自主自律の習慣だ。社会の多様化が進むほど、世の中が揺らぎ予測することが困難になるほど、自主自律の精神は行方を照らす光のように一層輝きを増すのではないかと感じている。

仕事人生はもう少し続く。竹早OBの夫と支え合う、我家のストーリー後半戦も楽しみだ。



前列左から3人目が筆者

## 「縁」あって今

Eルーム 山藤 郁夫

1年生の時、小柄だがパワフルなプレーで活躍するボーイッシュな女子バスケット部の同級生と、なぜかマックで大食い競争をした。大敗した私が支払ったのだが、当時のマックは高校生にとっては高級品で決して安くはなく、財布が底を突いた。屈託のない笑顔で「ごちそうさま!」と言い放った彼女から、おおよそ半世紀後、同窓会誌への寄稿を依頼され、引き受けざるを得なくなるとは、夢にも思わなかった。これも何かの縁であろうが、彼女は今、母校の体育教師である。

ところで、3年生時の各学期の私の英語の評定は、いち・いち・に。「……君を留年させても、本校は何も得をしない……」Eルーム担任でもあった石井俊彦先生から、ごもっともな心温まる優しいお言葉とともに、最終学年3学期の評定2を頂戴し何とか卒業した。もっとも、他の教科は余裕だったのかといえば決してそうではなく、体育以外はまともな成績ではなかった。当時の都立高校の入学試験は学校群制度の下であり、自分勝手なイメージだが、バンカラ風な小石川高校に憧れ目指していた私が、清楚な竹早高校に通うことになった時点で、この結果は必然であった。後に伴侶となる妻との縁が、高校時代に得た最大の収穫である。

その後、転居や自身の学力の都合で、1浪の末、茨城県の大学の農学部へ進み、県職員となった。35年間農業振興に係る様々な業務に携わり、現在は、県の出先機関である鹿行(ろっこう)農林事務所の所長となって、還暦を迎えた。ちなみに茨城県は、首都圏の食を支える全国屈指の農業県であり、その中でも鹿行地域は、県内トップの大産地である。そんな地域の農業振興に、都立竹早高校の卒業生が携わっているのも、何かの縁。竹早高校とご縁のある皆様、スーパーで茨城県産の農産物を見かけたら、ぜひお買い求め下さい!



## シエトワ～あなたの家～

Fルーム 金本 伸一

還暦である。老いに抗う気は毛頭ないが実感も全くない。心豊かに暮らしている。

竹早の3年間…今思うと思いきり背伸びして大人ぶって生きていた。それが可愛くもあり恥ずかしい。

高校時代はダラダラと日常を過ごしていた。悪友の実家が営む喫茶店に集って夜通しギターの弾き語りの倶会をやったり、バイクでツーリングしたり、冬休みになると白馬の山小屋にこもったり。1980年12月9日(アメリカ時間12月8日)も悪友と過ごしていた。

「ジョン(レノン)が死んだってよ!」とミュージシャンを目指す友達。「バカ言うなよ!ジョン(ウエイン;その前の年に逝去)だろ」と自分。家に帰ってラジオをつけるとジョン・レノンの歌ばかりが流れていた。

こんな場面を鮮明に覚えている。今の自分は昨日の昼飯に何を食べたかも覚束ないのに。そんな時のかけらが愛しく思い出される。

あの頃の竹早には、この歳になっても影響を受け続けている奴らがたくさんいる。

部活でサッカーに明け暮れていたとき、クラスで前の席に座っていた、いかにも不器用そうな奴を部に誘った。彼は決してサッカーが上手い方ではなかったが、どんだんのめり込んでいった。見立ての通り不器用な奴で、留年後に中退し、中退と同時にサッカーを追い求めてブラジルに渡った。選手にはなれなかったが今でも指導者としてサッカーを続け、彼がブラジルで一緒に汗を流した三浦カズが所属するチームで職を得たそうだ。易きに流れてきた自分にとっては憧憬の念を抱かずにはいられない。

竹早の頃は、もしかしたら60年生きてきて最も楽しかった日々かもしれない。還暦を迎えた今、竹早の奴らからもらったDNAを今一度掘り起こして新たな人生を始めてみようかと思う。



サッカー部時代の写真

# 特別セミナー・1年生対象

2024年7月18日(木) 箒会特別セミナーを実施しました。当セミナーは、学校と連携し1年生の進路選択の一助となるよう卒業生が講師となり、受験、大学生活、就職後の体験等について講話を行うものです。運営には父母と教師の会にご協力いただいています。どの講義室でも生徒たちは熱心に耳を傾け、熱いまなざしを向けていました。本セミナーが、受講生の今後の勉学や将来を考えるきっかけとなることを願います。



講師名	卒業年	職業等	セミナータイトル
水田 茂夫	1971	米国投資会社	海外留学を目指そう
吉田 賢治	1975	広告代理店	3つの嬉しさをつくること
吉田 信康	1979	税理士	自分はどんな人間なのか、文系なのか理系なのか、何を目指すべきか
永井 睦	1981	脳神経外科医師	(好きな学問の) 継続は力なり
廣瀬 愛子	1993	外交官	外国語を学んで世界へ!
柳原 みずき	1993	公益財団法人	"Think Globally, Act Locally" ~『世界』をみつめて仕事する~
山田 愛	1993	システムエンジニア	仕事で幸せになるために
結縄 美香	2013	商社 / 営業	遠回りしたからこそできたわたらしい『選択』
大森 美樹	2016	医療コンサルティング	進路・将来の探し方~学生時代から社会人までの経験・医療業界まで~
本橋 春菜	2016	看護師 / 営業職	医療に貢献する仕事
東島 粹生	2017	商事会社	寄り道の効用
浜西 優都	2018	金融 / 生命保険 / ライフプランナー	より豊かに生きるために~これからのお金とのつきあい方~

## 【受講生の感想から】

- ◆自分の強みや好きなことを見つけておくことで、将来の進路に繋がっていくことを学びました。
- ◆経験は無駄にならないと聞いて色々なことに挑戦していこうと思えました。
- ◆夏休み中に得意科目をひとつ増やすというのを聞き、頑張ろうという気持ちになりました。
- ◆「語学は努力しただけ報われる」と言われ、英語が得意となるよう、努力したいと思いました。

## 大先輩たちの職場を訪ねて—卒業生の所属する企業を訪問する「企業訪問」

今年も1年生の希望者を対象に、3企業訪問させていただきました。

なかなか見学することのできない研究所や、一般の方にはできない作業等を体験させていただきました。参加生徒たちは、大きな航空機や鉄道車両に驚き、また細かい作業に集中し、エキサイトの連続でした。

本事業は、訪問先企業で活躍されている同窓生の皆様のご厚意とご担当者様のご協力によって実現しております。猛暑の中、ご案内いただいた関係者の皆様には心より感謝申し上げます。



### 訪問先

- 8月5日 JR東日本東京新幹線車両センター
- 8月21日 ANA Blue Hangar
- 8月28日 シチズン時計株式会社

## 六竹・有志の会

令和6年6月6日、我ら「高校6回生」は、都内の「如水会館」に集まった。在校時代は総勢200名程であったが、現在連絡できる方は33名、その内、今年は、昨年より5名多い18名の方々が集まった。そして、本年は卒業後満70年とのことで、月日が経つ早さにお互い驚くばかりであった。何時もの様に、皆に近況報告をしてもらった。外出というと病院へという方もおられ、寄る年波には勝てず、病に関する話題がやはり多かった。しかし、皆それぞれ努力され、今年も元気な姿を見せてくれた。未だ仕事をされている方、歌のレッスンに通われている方、ヨーロッパ旅行を一人でされた方など、現役時代と変わらない方々もおられ、一同、大いに元気づけられた。最後に、例年通り「高校校歌」を全員で合唱し、来年の再会を約し、散会した。(影本昌則 1954年卒)



## 「学年幹事交流会」で世代を超えた 卒業生同士が交流しました

2025年3月20日、竹早高校被服室にて、今年度高校を卒業された125回生との交流を目的とした「学年幹事交流会」を行いました。

昨年度は、120～124回生までの卒業生やベテラン理事を含む25名ほどの参加でしたが、今年度は若手理事の参加も増え30名ほどとなりました。交流コーナーでは、各年代の懐かしいトークやこれからの大学生活への希望など、いろいろなテーマで盛り上がりました。また、交流会終了後には125回生をはじめとした卒業生と一緒に昼食をとり、親睦を深めました。昨年度以前は、会の中以外ではこのような交流の機会は見られなかったこともあり、若手同士だからこそその距離の近さを感じました。若篁会の良さが非常によく伝わった会だったと思います。

今後とも、篁会、若篁会が在校生そして卒業生みんなの支えおよび憩いの場となっていくよう努めてまいります。



若手理事と125回生



# 第13回篁会教育基金・奨学生認証式

2024年7月18日実施

審査により2024年度は6名の3年生が奨学生として選ばれました。

それぞれが「竹早高校から出発する近い未来と夢」を語ってくれました。

**安東 雅恵さん**✳️大学生生活で色々な知識を身につけていきたいです。様々なことに挑戦、学びを深め、自分のやりたいことを見つけていきたいです。

**得能 綾乃さん**✳️竹早高校で培った自主自律の精神や、行事や友人との思い出を胸に、自由に大きく羽ばたくための力を身につけていきます。

**齋藤 彩菜さん**✳️大学でも日本と世界を繋ぐ架け橋になりたいという目標を継続、英語の更なる見識を深め、国籍を超えた人と人との交流を活性化することに尽力する所存です。

**程 祉潤さん**✳️中国、日本で暮らし、朝鮮半島の友人を持ち、ある程度国際的価値観を持つ私は国際的諸問題の解決に尽力したいです。

**青木 春樹さん**✳️今、街づくり・都市政策に興味を持っ

ています。異常気象や自然環境に備える安心・安全な街づくりの仕事をして、社会貢献できるように頑張りたいと思います。

**小澤 令奈さん**✳️全国家庭クラブ生徒会長を務め、視野が広がりました。文系と理系を融合した学問を学び、文化や価値の創造に携わりたいです。



## 最高の仲間と作り上げる、竹早での一生の思い出

### 体育祭 ～声飛び交う、熱狂の駒沢公園～

今年は、晴天に恵まれ、太陽が燦々と輝く、最高のコンディションで開催されました。3年生の熱量は、駒沢公園を熱気に包みこみました。4月から応援団幹部を中心として行われた「パフォ練」。先輩の指導と友達同士の教えあいを胸に一生懸命に打ち込んでいました。仲間を奮い立たせる声援、元気に満ち溢れたかけ声、勝利の喜びや負けて悔しがる声。この日の駒沢公園は、竹早生の熱狂によって包み込まれました。



### 竹早祭 ～僕らの時間と引き換えに…?～

今年度の竹早祭も、1年生は出し物、2年生はクラス劇、3年生はアリーナ劇を行いました。どのクラスも今までの努力を惜しみなく発揮し、お客さまのことを全力で楽しませていました。私たちは多くの時間を準備に費やしました。終われば、道具や衣装は全て無くなってしまいますが、竹早生の胸の中には、最高の仲間と作り上げた、一生の思い出が残っているはずです。この素晴らしさ、継承していきたいです。  
(生徒会書記 橋口蓮音)



## 2024年シニア会開催のご報告と次回開催のご案内

2024年9月21日(土)スクワール麴町にて30名が参加して開催されました。

まずは、NHK朝ドラ「虎に翼」で話題になった初の女性弁護士のひとり、「高女卒業生の中田正子さん」をテーマとした講演「中田正子と二つの日本初〜ドラマと史実の比較を交えて〜」を、同じ竹早→明治大学卒業の東島理事が行い大喝采でした。そして、高校10回生(筮58回)のグループが朝日新聞に寄稿した戦時中の記憶や平和への願いについての記事の紹介、続いて「お楽しみ抽選会」など、中身濃く大賑わいのイベントでした。久しぶりに顔を合わせるクラスメートともお話が弾んだようです。また高校15回生(筮63回)が80歳の「傘寿」にあたる年なので参加の10人に傘のプレゼントをしてお祝いしました。



### 2025年シニア会のお知らせ

日時：2025年10月12日(日)12:00から

会場：四ツ谷駅前「スクワール麴町」

会費：9,000円

●参加申し込みは下記まで

メール：takamurasenior@gmail.com

電話：090-3331-5093 (⑩関)、080-2035-3698 (⑮泉)、  
090-3234-1603 (⑯古山)

F a x : 042-487-3258

※高校卒業後50年以上たった方が中心ですが、それより若い方々の参加も大歓迎です。

## 東京校歌祭～校歌を歌い継ぐ会～

第32回校歌祭は、10月27日(日)、杉並公会堂で都立高校、都立中等教育学校20校が集い、開催されました。筮会からも15名が参加し、第二高女校歌、竹早高校校歌、そして若い広場(桑田佳祐作詞作曲の朝ドラ「ひよっこ」テーマ……ちょっと難しかった)を披露しました。

合唱部元部長の宮岡さんはじめ若い世代の方々のリードにより、20代から70代までの筮チーム全員で楽しく歌うことができました。校歌祭に参加いただいた方、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

2025年は、10月26日(日)杉並公会堂大ホールで開催します。

皆さん一緒に歌いましょう！



【指揮：佐藤美紗子さん・東島粹生さん・宮岡あや野さん】

### 2024年度大学合格状況

国公立大学 87名(東京大1、一橋大2、東京科学大(旧東工大)2、北海道大2、お茶の水女子大5、東京外語大2、東京学芸大10、千葉大6、埼玉大11、筑波大5、横浜国立大3、東京農工大5、東京都立大6)

私立大学 851名(早稲田大21、慶応大11、上智大11、東京理科大27、明治大65、青山学院大25、立教大75、中央大27、法政大87、学習院大27、芝浦工業大41、日本大30、東洋大70、駒澤大12、専修大17)

\*詳しくは5月以降、竹早高校のホームページ([www.metro.ed.jp/takehaya-h/](http://www.metro.ed.jp/takehaya-h/))卒業後の進路>進路データ>大学合格状況)でご覧ください

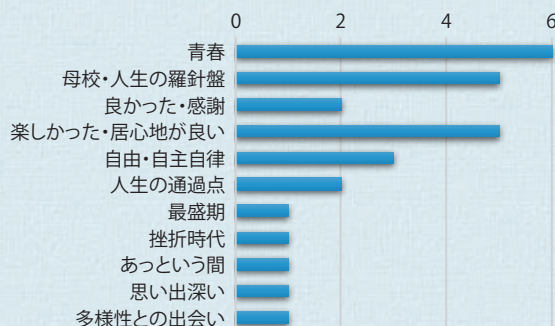
# 還暦後の竹早生は今 ～82年卒アンケートから

ホームカミングデーの開催に向けて幹事年同期のつながりを辿る中、皆にアンケートをとってみました。回答者は32名と学年277名の1割ほどですが、還暦を経た竹早生の今、そして、竹早時代の「自主自律」に則った様子も垣間見られました。アンケートは全17問でしたが、その一部をご紹介します。

## Q.自身にとっての竹早、一言で言うと？

竹早高校についていくつかの質問の一つです。いただいた自由回答を分類すると、「青春」、「母校」、「楽しかった」という言葉が目立ちました。

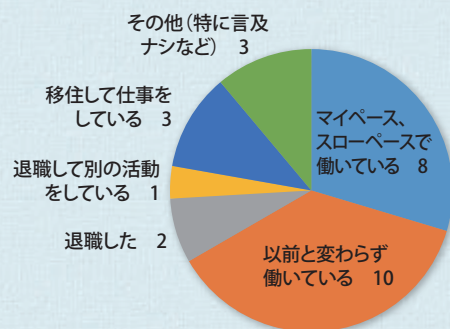
自身にとっての竹早、ひと言で言うと？



## Q.近況のうち、就労の状況について

就労状況について分類すると、グラフのようになります。親御さんの介護、副業、愛犬やお孫さんについて、中には「体を整えて全力で遊びたい」といったコメントもありました。

近況のうち、就労状況について



## Q.現在も竹早時代の仲間と交流はありますか？

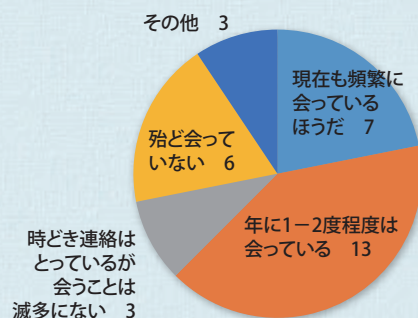
この回答の「その他」は「非常に少ないがよく会う友人はいる」、「今年から再会し始めた」というものでした。交流を持っている傾向の高いことがうかがえます。

アンケートでは、自身がどんな生徒だったか、印象的な思い出など高校時代のこと、また、これまでの自身の転機についてなども聞いてみました。

高校時代には想像することもなかった「還暦」ですが、実際に迎えてみると40余年はあつという間のようで長い道程です。高校時代を懐かしんだり、その後の一人ひとりの物語に心を寄せたり……ホームカミングデーでは、日頃はなかなかお会いできない先生方や同窓生たちとの交流も楽しみです。

※アンケートは、2024年12月～オンラインにて実施。上記の内容は、2025年2月20日までの32名の回答をもとに、回答のコメントにある言葉から作成者が分類したものです。

現在も竹早時代の仲間と交流はありますか？



継続的にクラス会を開催しているBルーム  
(2024年は担任の渡辺先生と共に32名が集合)



同好会きっかけなどクラスを越えたつながりも続いています  
(左：2019年、池袋にて／右：2024年10月、横浜で仲間の演奏活動応援撮影：ハマの風さん)



## 令和6年度理事会報告

### ●第一回 2024年6月16日開催 総会

#### 1) 承認

- ・新監事選任の件 1974年卒 三野直子氏
- ・新理事選任の件 1981年卒 江口真理氏
- 2018年卒 長岡望氏
- 2021年卒 小林夏希氏
- 2022年卒 山中捺月氏
- 2024年卒 伊藤敦氏 茂呂居浩伸氏
- ・理事退任の件 1976年卒 佐々木章子氏
- ・監事退任の件 1979年卒 鳴沢清隆氏
- ・シニア会事業承認

#### 2) 事業計画

- ・特別セミナー、奨学生認証式7月実施の件、企業訪問実施の件、学年幹事交流会の件、広報活動の件、若篁会発足準備の件

### ●第二回 10月28日 出席15名 委任状8名

#### 1) 承認

- ・会報誌編集長(82年卒 千手みほ氏) ホームカミングデーリーダー(82年卒 富士田浩之氏)
- ・卒業生による竹早生向け学問ガイダンスの件
- ・企業訪問先検討内容の件

### ●第三回 11月2日 出席11名 委任状8名

#### 1) 承認

- ・会報誌の頁割、基本要項
- ・若篁会今後活動と予算検討内容
- ・25年度会報誌配送内容継続

### ●第四回 2025年1月11日 出席15名 委任状7名

#### 1) 承認

- ・会報誌制作進捗状況報告内容
- ・ホームカミングデー活性化策 特別講座講師案 実施概要
- ・学年幹事交流会日程と推進メンバー
- ・学問オリエンテーション実施計画
- ・百周年展示コーナー
- ・25年度の活動方針とプロジェクト体制
- ・若篁会起案の活動と予算案

### ●第五回 2025年3月20日 出席13名 委任状9名

#### 1) 承認

- ・会長退任の件
- ・新任会長、副会長、理事選任
- ・2025年度プロジェクト体制と活動骨子

## 篁会 2024・R6年度収支決算(案)

2024年4月1日より2025年3月31日まで(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金 (特別会計を含む)	4,460,376	教育支援事業 奨学金	300,000
入会金(新入会員)	2,167,854	教育援助金	18,314
年会費	2,541,474	特別セミナー	100,000
寄付金	170,000	会報発行費	2,348,731
雑収入	0	校歌祭	50,000
受取利息	442	若篁会	47,000
		学年幹事交流会	55,602
		ホームカミング	226,197
		活動推進補助	83,130
		総務費	81,725
		Webサイト運営保守	4,400
		Web・HP管理費	0
		DX推進費(新規)	230,955
		小計	3,546,054
		次年度繰越金	5,794,092
合計	9,340,146	合計	9,340,146

特別会計			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
基金(定期預金)	10,000,000	基金(定期預金)	0
合計	10,000,000	合計	0

注) 周年事業基金 468,486円、高女記念碑基金 243,600円を含む。

### 篁会令和7年度収支予算(案)について

15ページ掲載内容のように、若手会員の育成支援など篁会活動はこれまで以上に多様化します。皆さまからお預かりする会費等の収入の用途をきちんと検討し、効果的に配分することが必要となります。

2024年度内に活動の実施計画と費用計画を策定することは極めて難しく、当会報誌に「間に合わせ」で掲載することは無責任と判断のうえ、不掲載といたします。

なお、2025年度予算案は理事会承認を経、2025年6月の篁会総会にてご説明いたします。

篁会会長 高倉 孝生



# [2025年度は、新しい取り組み「若篁塾」を具体化します]

会員の皆様、昨年度は多くのご支援を賜り、ありがとうございました。皆さまからの会費収入が増えたことで、運営の効率化と相まって、大きな赤字状況を脱却できました。心より御礼申し上げます。

これまで篁会の活動は、主にシニア層と母校生徒を対象として参りました。例えば会報誌やシニア層を中心とした催しへの支援、特別セミナーや母校生の企業訪問支援などです。それに比して若い世代、特に社会に旅立つ準備期間である大学生に対する支援は不足しておりました。

そこで一昨年発足した若手理事プロジェクト「若篁会」とシニア理事が協力して、25年度10月開始を目途に、大学生と若手社会人を対象とした活動をスタートさせることといたしました。優秀にして多様な先輩社会人が、その知識・スキルを大学生に伝授する、いわば「若篁塾」です。概要は下記のとおりです。

## 1. 若篁社会人が教え大学生が教わる

隔月1回講師陣が語る 業種、職種 生き甲斐、仕事とは 若手社会人会員による「業種・業界セミナー」の定期開催

## 2. 専門家篁が伝授するプロの技術

ビジネスコミュニケーション、プレゼンテーションなど、専門性をもったシニア会員による「若篁スキルアップセミナー」の定期開催

この事業を広く大きく発展させることは、全世代の竹早卒業生がタテヨコに強い繋がりを持ち、交流し、支え合う唯一無二の同窓会になっていくことを意味するものと思います。

そして、その実現には、皆様による、より一層のご支援が不可欠なものとなります。構想を絵に描いた餅に終わらせないよう、会費納入、寄付を是非積極的に行っていただきますこと、切にお願い申し上げます。

令和7年6月 篁会会長 高倉 孝生

## 会費納入の仕方について

### ①本書同封の振込用紙(宛名用紙の下部)※郵便局専用

### ②クレジットカード決済

ホームページ(<https://www.takamura-kai.com>)の「篁会 会費納入のお願い」よりガイダンスに従い決済ください。

### ③銀行振り込み

必ず卒業年4桁(19●●年卒)と氏名(フルネーム)を入力の上、みずほ銀行 本郷支店 2350582 竹早高等学校篁会 に振込ください。

(振込手数料はご本人負担となります。)

※年会費は2口(2000円)以上となります。

※同窓会システム停止に伴う連絡先はtakamurakai@gmail.comです。

右のQRコードからも入ることができます。





# 篁会報



発行日 2025年4月30日  
 発行 篁会  
 〒112-0002  
 東京都文京区小石川4-2-1  
 東京都立竹早高等学校内  
 Eメール takamurakai@gmail.com  
<https://www.takamura-kai.com>  
 編集刷 篁会 広報委員会  
 共立速記印刷株式会社  
 〒102-0072  
 東京都千代田区飯田橋3-11-24  
 1982年卒業生有志

## 篁会役員

〈2025年4月現在〉

会長	高倉 孝生	1971年卒
名誉会長	俵田 浩一	1980年卒
顧問	篠辺 修	1971年卒
顧問	西村 慶介	1975年卒
顧問	古関 恵一	1977年卒
副会長	宮沢 和正	1974年卒
副会長	吉田 賢治	1975年卒
副会長	杉淵 明子	1978年卒
理事	川戸 直美	1974年卒
理事	廣川 州伸	1974年卒
理事	神門 正雄	1979年卒
理事	鳴沢 清隆	1979年卒
理事	根岸潤一郎	1979年卒
理事	本庄 忍	1979年卒
理事	源 美恵子	1979年卒
理事	江口 真理	1981年卒
理事	戸次 聡史	1982年卒
理事	柳屋 克子	1983年卒
理事	大森 美樹	2016年卒
理事	東島 粹生	2017年卒
理事	仁科 広貴	2017年卒
理事	堤谷 美柚	2018年卒
理事	長岡 望	2019年卒
理事	松岡 舞	2019年卒
理事	宮岡あや野	2019年卒
理事	池ヶ谷駿介	2020年卒
理事	鈴木 彰太	2020年卒
理事	小林 夏希	2021年卒
理事	緑川 泰生	2021年卒
理事	松田 理玖	2022年卒
理事	山中 捺月	2022年卒
理事	伊藤 敦	2024年卒
理事	茂呂居 洪伸	2024年卒
監事	高橋 政行	1973年卒
監事	三野 直子	1974年卒

## アドバイザー

岩野 英子	1968年卒
吉岡 新	1969年卒
松澤由利子	1970年卒
中村 光宏	1971年卒
水田 茂夫	1971年卒
薩田須美子	1972年卒
山田 祥子	1974年卒
田村 浩之	1975年卒
佐々木 章子	1976年卒
山口 順子	1976年卒

## 広報委員〈2025年4月現在〉

吉岡 新	1969年卒
吉田 賢治	1975年卒
山口 順子	1976年卒
杉淵 明子	1978年卒
鳴沢 清隆	1979年卒
源 美恵子	1979年卒
江口 真理	1981年卒
堀越 睦	1981年卒
碓井 孝之	1982年卒
宇津木 岳士	1982年卒
瀬田 克弘	1982年卒
* 千手 美穂	1982年卒
富士田 浩之	1982年卒
戸次 聡史	1982年卒
前田 丈仁	1982年卒
植田 聡美	1983年卒
柳屋 克子	1983年卒
大森 美樹	2016年卒
東島 粹生	2017年卒
堤谷 美柚	2018年卒
宮岡あや野	2019年卒
池ヶ谷 駿介	2020年卒
鈴木 彰太	2020年卒

\*編集長

